



ファミリア通信 第3号

医療法人天公会 石狩ファミリアホスピタル



就任のあいさつ

令和3年1月21日より院長を拝命しました押部 弘と申します。私自身は北海道の出身ではないのですが、医学部を卒業して研修医時代からずっと北海道で仕事をしてきました。その間に様々な医療関係者の方や患者様と関わることが出来て、医師として精神科医として大きく成長させていただきました。その後、数年間北海道を離れていたのですが、もう一度北海道で仕事をしたいという気持ちが年々強くなっていました。そして念願かなって令和2年8月からこの石狩ファミリアホスピタルで勤務することになりました。

2度目の北海道での臨床ですが、これまでの臨床経験を存分に生かすことが出来るという手応えを感じています。石狩市で唯一の精神科病院として地域の皆様の御要望に応えられるように、そして、石狩ファミリアホスピタルの名前の通り、若い方から高齢の方まで幅広い患者様が親しみやすい病院にしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

病院長 押部 弘

スタッフ紹介

医師 熊谷 福夫



今月は熊谷福夫先生を紹介いたします。
広報委員がインタビューしました！

Q.好きな食べものは？

A.日本食(特に豆腐と納豆は毎日食べています)。

Q.趣味は何ですか？

A.音楽(聴くのも演奏するのも)、スポーツ(スキーは毎年行きます)、山歩き。

Q.ストレスの発散方法は何ですか？

A.こまめに体を動かすこと、とにかく歩くこと(空気のきれいなところだとなお良し)。

西野流呼吸法やシュルツの自律訓練法も薬に頼らず心身をリラックスさせる方法です。

Q.出身地と出身地のよいところを紹介してください。

A.北見市(当時は野付牛町)です。ハッカで有名ですが、自然豊かで小さい頃はヤギや豚、ニワトリに囲まれて育ちました。

Q.お医者さんになったきっかけは？

小さい頃に兄の本「野口英世」を読んだこと、明治生まれの父が医師を目指し志しを果たせなかったこと、次兄が医学部に入ったことがきっかけです。時代の流れや良い出会いに恵まれ、気づくと医師の道にいました。

ひきこもり相談

を始めました

当院では、令和3年1月より「ひきこもり相談」を始めました。家族の誰かがずっと家にひきこもっていることでお悩みの方、どこに相談したらよいのか分からず悩んでいる方は、当院までご相談ください。

【このようなご相談が多くあります】

- 人に会うのがおっくうで、家で横になったまま過ごしている。
- 元気に外出し活動的なこともあるけど、しばらくするとひきこもり外に出なくなる。
- 部屋にこもり、風呂もめったに入らず、歯も磨かず、服も着替えず、散髪もせずにいる。
- きっかけも分からないまま学校に行けなくなっている。
- 人の視線や話し声が怖くて外出できない。
- まるで誰かと会話しているかのように、ぶつぶつと1人で話している。
- 家族や近所の出す音に敏感で、いらいらしたり怒ったりしている。
- 何回も確認したり、たくさんのルールに縛られてなかなか外出できない。
- お酒がやめられず、仕事もできなくなっている。



こういった悩みは精神症状である可能性があり、治療すれば改善する可能性が高いといえます。ご本人の受診が難しい場合、ご家族様だけでも対応させていただきます。お悩みの方は、当院までご連絡ください(電話 0133-73-5201)。

💖使ったところが強くなる(作業療法)💖

今回は精神療養病棟で行っている『茶話会 G』をご紹介します♪
茶話会はピアサポーターのお話を聞いたり、利用できる制度や日中の過ごし方を学んだりすることで、退院後の生活をイメージできるようになるのを目的としています。現在はピアサポーターさんをお招きすることができないため、無料のビデオチャットサービス『zoom』を利用してオンラインで実施しています。

※ピアサポーターとは、同じ病気や悩みを持つ人を支える仲間のことです。

☆今年度の実施内容

- 6月 『退院後のイメージを描こう！』
- 7月 『お金のやりくりについて』
- 8月 『住居について』
- 9月 『お金と上手に付き合うために覚えておいて欲しいこと』
- 10月 『作業所って？』
- 11月 『Aさんが語る退院と退院後の生活』
- 12月 『退院後に当院で利用できるサービスについて』
- 1月 『孤独で調子を崩さないために』



作業療法では小さなことから焦らずコツコツと！楽しみながらできることを増やし、みなさまの生活を取り戻すお手伝いをしています。

認知症治療病棟について

当病棟は認知症治療病棟として平成 30 年 10 月に開設しました。認知症の主な症状である「もの忘れ」や「時間・場所などが分からなくなる」等の他に、「落ち込みが強くなる」「怒りっぽくなる」といった行動心理症状でご自宅や施設での生活が難しくなった患者様が入院されています。

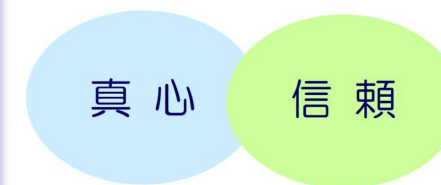
当病棟では患者様やご家族が希望されるご自宅や施設への退院に向けて取り組みを行います。医師、看護師、ケアワーカーの他、作業療法士や精神保健福祉士等の多職種で関わり、週 2 回の合同カンファレンスを通じそれぞれの専門性を活かしたチーム医療を行っています。患者様の認知機能が維持向上できるよう、また、行動心理症状が改善されるよう、日々の作業療法や季節行事を取り入れたレクリエーションにも力を入れています。

病棟スタッフは患者様に寄り添うコミュニケーションに努め、療養生活を安心して過ごしていただけるよう心がけております。また、学習会を行い、認知症専門の病棟スタッフとしてスキルアップにも取り組んでいます。

今後も認知症患者様を支え、患者様がその人らしく地域で過ごしていただける医療・看護サービスとケアに努めてまいります。

認知症治療病棟師長 小松郁子

病院理念



一人でも多くの人を笑顔にする
(笑顔を取り戻してもらう)

安全と信頼

私たちは常に専門的知識と技術の向上に努め、地域に信頼され、安全で質の高い医療・介護・福祉を提供することを心がけます。

真心と誠意

私たちは一人ひとりの皆様との出会いを大切に、真心と誠意をもって皆様の健康な心身づくりに努めます。

病院基本方針

1. 私たちは地域に信頼され、必要とされる医療機関をめざします。
2. 私たちは患者様との出会いを大切に、患者様の心身を真心をもって癒やします。
3. 私たちは専門職として、それぞれの分野で知識・技術を磨き、チーム医療の質の向上に努めます。
4. 私たちは患者様の自由・権利・人間性を尊重します。
5. 私たちは患者様が社会人として地域の中で生活を送れるように支援します。

患者様の権利

患者様は、適切な医療を受け、安心して療養に専念することができるよう、次の権利を有しています。

1. 個人として、その人格を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 状態に応じた適切な治療について知る権利
4. 自分の意見表明や自己決定できる援助を受ける権利
5. 公平で差別されない医療及び対応を受ける権利
6. 通信・面会の権利
7. 退院請求及び処遇改善を申し立てる権利
8. 開放的、明るい、清潔、落ち着ける環境で治療を受ける権利
9. 最小の制限のもとで治療を受ける権利

編集後記

寒さが身にしみる季節ですね。新型コロナウィルスも依然として猛威を振っています。体調はいかがでしょう？
2月と言えばバレンタインですが、有名ホテルでは1万円以上するチョコレートが売られています。ぜひ食べてみたいものです。

発行日:2021年2月
編集 :石狩ファミリアホスピタル広報委員会
発行 :医療法人天公会石狩ファミリアホスピタル
〒061-3207 石狩市花川南7条5丁目5番地
Tel (0133)73-5201 Fax(0133)73-8932
診療科目:精神科・心療内科
ホームページ:http://tenkohkai.or.jp